

守山まるごと活性化 議事要旨

作成者: 菅

会議名: 第5回守山学区まるごと活性化プランAプロジェクト会議

日時: 平成28年10月29日(土)午前10時から

場所: 守山会館2階 図書室

出席者: 伴野学区長、井上代表、和田副代表、奥村、竹村、小嶋、梅景、窪田、杉本口

出席者(行政): 地域振興・交通政策課 高山主任、市民協働課 高田係長、守山会館 田中館長
菅主事

使用資料: 自治会運営の見直し…課題と対策取りまとめ書、課題: 寄付について

議題

1. これまでの課題と対策の取りまとめについて
2. 寄付について

会議要旨

内容

1. これまでの課題と対策の取りまとめについて

今まで「役員」「行政等」「事業」「会員」「情報」「寄付」の6項目について対策を考えてきた。対策案について実践できるか等は今後改めて見直す。

●前回の協議内容の「情報について」補足意見

本町自治会では回覧文書の内容が一目で分かるよう「目次」を作成し、添付している。添付の理由としては、回覧された文書について「見ていない」との声が多く、目次があれば分かりやすいのではと考えたため。

→他自治会からも「目次」作成について実践してみたいとの声があがる。

「目次」を見てみたいので、次回参考に持参し、会議の中で情報共有する。

2. 寄付について※寄付: 募金のこと

○集金手間を考え自治会費より支出しているが、問題化する恐れがある。

【意見】

- ・班ごとに集めてもらうので集まりはいい。
- ・自治会費から支出していることは良くないのでは。裁判で自治会が負けたところがあるらしい。
- ・自治会費から支出することを総会・役員会などで承認してもらっているので自治会長の意思ではない。ただし、あくまで有志のものであるので世帯数100%の支出はしないようにしている。規約は作ることはできない。
- ・どれだけ寄付したか、自治会広報誌に載せるようにしている。
- ・何年も前から行っていることで、やめるにやめられない状況がある。
- ・自治会に還元されるようなものについては班長あての文書を付け、募金内容・還元内容について周知している。
- ・自治会に還元されるような内容のものは自治会費からでもいいのでは。還元された内容(例えばお花など)について、自治会広報誌に載せることで募金する人が増えるかもしれない。

(裏面に続く)

決定事項

12月 3日(土)午前10時から 守山会館2階図書室

次回以降について

引き続き「寄付について」協議を行う

会議要旨

内容

- ・そもそも募金は有志・協力で行うものなので、自治会はどこまで集める努力すべきなのか自治連合会で話し合っしてほしい。
- ・自治会長会などで実態を聞き取り、本来どうあるべきかを考えられれば。
- ・募金は市から自治会へお願いしていることであるが、自治会が支出していることが違法であれば難しくなる。現時点では続けていく。
- ・自治会費から宗教団体への寄付はダメだという判決が出ていたと思う。
→「そもそも支出してはいけない」という負け方ではなかったのではないかと。会員に承認を得ていたとして、それを立証できれば結果は違ったのでは。
- ・自治会費から支出することになったことには何か理由があったはずだが、その経緯がわからないので、簡単には変えられないのが現状。

○募金の依頼時期が団体ごとにはばらつきがあり、自治会内で大変手間がかかる

【意見】

- ・募金する時期については自治会で決められないのか？
→例えば、緑の募金のように時期が決まっているものについては難しいと思われるが、募金の種類によっては自治会で集めた後でも募金することが可能なものもある。(市民協働課)

○自治会への寄付要請と思われるふしがある

【意見】

- ・寄付要請と思われぬように文書を付けている。